

OSBの場合、現在の輸入品流通価格は1,200円/枚であり、北海道産品流通価格は試算した工場出し値910円×流通経費率1.2=1,092円/枚となります。

これらの比較から、流通経費を極力圧縮するような販売体系と地場市場を築くことが絶対条件となり、これが実現できるならば、OSB工場の北海道内立地の可能性が見えてくるでしょう。

#### 参考資料

- 1) 堀江秀夫：林産試だより，2月号，8～15（1993）

- 2) 住宅ジャーナル，7月号，9～17（1993）  
3) 日刊木材新聞，1992年5月22日号  
4) 堀江秀夫：木材工業，投稿中  
5) 梶田 熙：カナダ・アメリカ西海岸木材産業実態調査報告書（1993）  
6) 米材ウイクリー，1992年9月28日号  
7) Random Lengths，1993年8月27日号  
8) 日刊木材新聞，1993年9月29日号  
9) 日刊木材新聞，1993年9月7日号  
10) 積算ポケット手帳1993海外編 輸入建築資材データブック

（林産試験場 成形科）

### 技術のおたずねにこたえて

〔おたずね〕 自分で育てた立木で、ログハウスを建築しようと考えているのですが、次のことを教えてください。

- (1) 立木の伐採時期 (2) 丸太の乾燥方法  
(3) 防腐処理の必要性

（K町 T男）

#### 〔おこたえ〕

- (1) 立木の伐採時期について

一般には、厳寒の冬が最適です。

樹木は、春になると活発に成長を開始し、秋まで続けます。その間、樹木は盛んに水分を吸収し、立木内部は樹液が盛んに流動します。そのため、この時期に樹木を伐採すると木材は水分を多く含み、養分も豊富なので腐りやすく、また乾燥もしづらくなります。

厳寒期では、樹木は成長を休止しているため水分も少なくなり、そのために伐採した丸太は腐りにくく、乾燥も容易になります。

ただし、丸太の皮をむく場合、樹木が成長している夏場に伐採した丸太は皮がむきやすいのですが、反対に、冬場に伐採した丸太はむきづらくなります。

- (2) 丸太の乾燥方法について

木材は、専用の人工乾燥装置がない場合には、自然気候の中で天然乾燥させることとなります。

丸太を適当な間隔を開けて数段積み上げ、風通しの良い場所で乾燥させます。乾燥させている間は雨が丸太に当たらないように、積み上げた上部を何かで覆っておきます。

このような方法で行った場合、完全に乾燥させるには恐らく数年かかると思われますが、ログハウスの材料に使うときは、数か月乾燥させて表面のみが乾燥した状態で使用しても差し支えありません。

- (3) 防腐処理の必要性について

丸太材は、使う位置によって防腐処理が必要になります。たとえば、ログハウスでは土台部分の防腐処理が必要で、地表から1メートルの高さまでに使われる木材は適当な防腐処理をする規則になっています。

なお、ログハウスの建築に当たっては、様々な条件を考慮する必要がありますので、次の書籍を参考にするとよいと思います。

- (1) 「丸太組構法技術基準・同解説」

（財）日本建築センター発行，1990年版

- (2) 「住宅金融公庫融資住宅丸太組構法住宅工事共通仕様書」

住宅金融普及協会発行，平成5年度版

（林産試験場 加工科）